



プロ検パンフレットご案内トーク例

プロ検パンフレットを使って保護者様にプロ検のメリット等をお伝えいただくためのトーク例になります。
プロ検を受験していただくことで、貴学校の継続受講につながりましたら幸いです。

1. 導入（コミュニケーション）

『 ○○様、本日はお忙しい中（お越しいただき）ありがとうございます。今日はよろしく申し上げます。
早速ですが、太郎くん、最近●●（貴スクール名）について、お家で何かおっしゃっていただいていますか？ 』

1
最初にスクールについてヒアリング

『 そうなんです！実際、いつも太郎くん、楽しそうに取り組まれているんですが、そのお話をうかがえて嬉しいです！ 』

『 最近も例えば授業が終わった後に、最近入られた他の生徒さんに「このコードを使うといいよ」と教えていたりして、太郎くん、本当に優しいお子さんだなぁって感じました。 』

2
次に、スクールでの様子を具体的なエピソードを交えて伝え、ほめる

★「ほめる」ことで保護者様が安心してこちらの話を受け入れてくれるようになります。

『 今ですと、太郎くんは「・・・【具体的な進捗】」まで進んでいまして、プログラミングがどんどん上達されていて本当に素晴らしいと思います。そんな太郎くんのプログラミングへのやる気をさらに引き出していきたくて思っていて、今日はこちらの（パンフレットを見せる）『プログラミング能力検定（プロ検）』というテストについてお話をさせてください。 』

2. プロ検の説明・受験促進

『 この『プロ検』というのは、英検のプログラミング版のようなテストで、プログラミングの検定の中で受験者数が国内で一番多いです。また英検同様に、合格すると入試で優遇されるケースが増えています。

『 『プロ検』受験はお子さまが自信をつかみ大きな成長へと向かうチャンスです。』とありますが、普段お勉強されている内容をこちらの検定で試して合格していただくと、その後のプログラミングのやる気を大きく引き出せます。 』

> パンフレット P2 「プログラミング教育の重要度」の説明

『 ところで、太郎くんもそうですが、今、プログラミングを勉強されるお子様がどんどん増えています。

なぜかと申しますと、こちら（p.2）にございますように、「すでに小中高でプログラミングは必修化」され、さらに「2025年から、大学の共通テストで『情報I』という科目がスタート」しています。そして、2030年にはこれからますます増えていくAI時代に対応するために、学習指導要領が改訂されて、プログラミング教育がどんどん増えていくからです。

そういった意味でも、今の段階からプログラミングを習っていらっしゃるの、こういった将来に対応できますので、とても素晴らしいと思います。 』



プロ検パンフレット P1-2

> パンフレット P6~8 「プロ検とは？（プロ検のメリット）」の説明

『 そのような中で、この『プロ検』が一番多く受けられている理由なんですが、こちらの「1 大学受験・将来に役立つ」ということがあります。こちら（パンフレットp.6「100以上の大学がプロ検を入試優遇に活用！」）にありますように、信州大学やお茶の水女子大学といった国公立大学さんから、日本大学・近畿大学といった私立大学さんまで、**現時点ですでに100以上の大学で、『プロ検』に合格していると入試で優遇されるようになっています。**この大学数は日々増えておりまして、英検同様に入試で役に立つ！ということも多くの方が受けられています。』



プロ検パンフレット P5-6

『 次のページに「2 レベル・言語別から受験しやすい」とありまして、太郎くんの場合はすでにこちらの「ビジュアル言語 レベル1」を受けられる所まですでに授業を進めていただいていますので、そちらをお受けいただければと思います。ちなみに、レベルごとの受験料はこちら（←パンフレットのウラ面を見せる）ですので、レベル1をお受けの場合は税込で2,200円となります。』



プロ検パンフレット P7-8

『 最後に「3 詳細な成績表で今後の課題が見える」のこちら（一番下）に「合格証書で学習意欲が向上」とあります。スイングスクールさんなどもそうですが、スクールに通うことに加えて、途中の試験で一つ一つの級に合格していくと、お子様がさらにやる気になられます。プログラミングの勉強はこれから続きますが、せっかく楽しんでいただいているので、太郎くんのやる気を更に引き出すためにもご受験をおすすめしております。』

> 「プロ検対策講座」を実施する場合

『 ただ、初めてお受けになるということで、太郎くんも不安な部分がおありかと思しますので、『プロ検』をお受けいただく方には試験1週間前の授業時間内で無料で「プロ検対策講座」を実施させていただきます。』

『プロ検』と同じ形式の問題を解いていただくことで、試験慣れもしていただけますし、太郎くんもご安心かと思います。』

『 次回の『プロ検』は●月●日を予定してまして、ぜひ太郎くんにもお受けいただければと思うのですが、いかがでしょうか？』

（ぜひ受けさせたいです）

ありがとうございます。それでは具体的な申込方法についてですが…（説明する）。』

貴スクールの内容でご説明ください

3. クロージング

『 最後になりますが、お母様（お父様）から何かご質問等ございますでしょうか？ それでは、太郎くんには私からも『プロ検』についてお伝えさせていただきます。本日はありがとうございました。』

以上

プロ検につきましては
公式HPもご覧ください

